

繪本八十字沼田
全

~ 9
4518



繪本八十宇治川叙

文と右の武と左ふすのまは治政也

海ねのう安し居る危しとれは

まこといふの乃れははされは漢の四七乃

將の兼康さうね壁ふ画が被後三年此

合戦ハ古伝画其巻物ふ著しこり

北尾の何が一何らさる名を姿とて

其乃大和繪ふらんたるを御

御



撃手攘りろくしんしんも哥の〜
そくまれの文を海とく右傳の一章一白れ
か〜たを居らげ武はよくたき〜
この〜何の中の酒宴かおその画れ〜
巨勢のかとも凡と〜え其〜
〜方翔艾子も願と解〜
兎搦め壽〜
録格の〜

〜その紙を田〜
亭めのゆ〜海〜
ひま〜
〜

四方山人

貞奉

皇
皇

大和柿
見事
頭
焼
時
寺
学



日本武尊

上ノ二

雜
乃
山
人
の
葉
の
花





紀
廣

阿
ん
勢
六



是
思
志
の
此

柳
の
ま
は

ま
ま
ま

あ
ま

新
之
れ



薩
摩
守
忠
度



いぶの
 千人
 山下
 五糸
 あり
 のり
 め
 れ
 魚

さけの
 長丸

御曹
 牛若子
 丸



山田
 舟
 わ
 榜
 の
 夕
 美
 と
 の
 龍

武蔵房
 辨慶



隠れても
 きの
 影の
 大長の
 月の
 志
 清景

康津部真顔

悪
 七兵衛
 景
 清

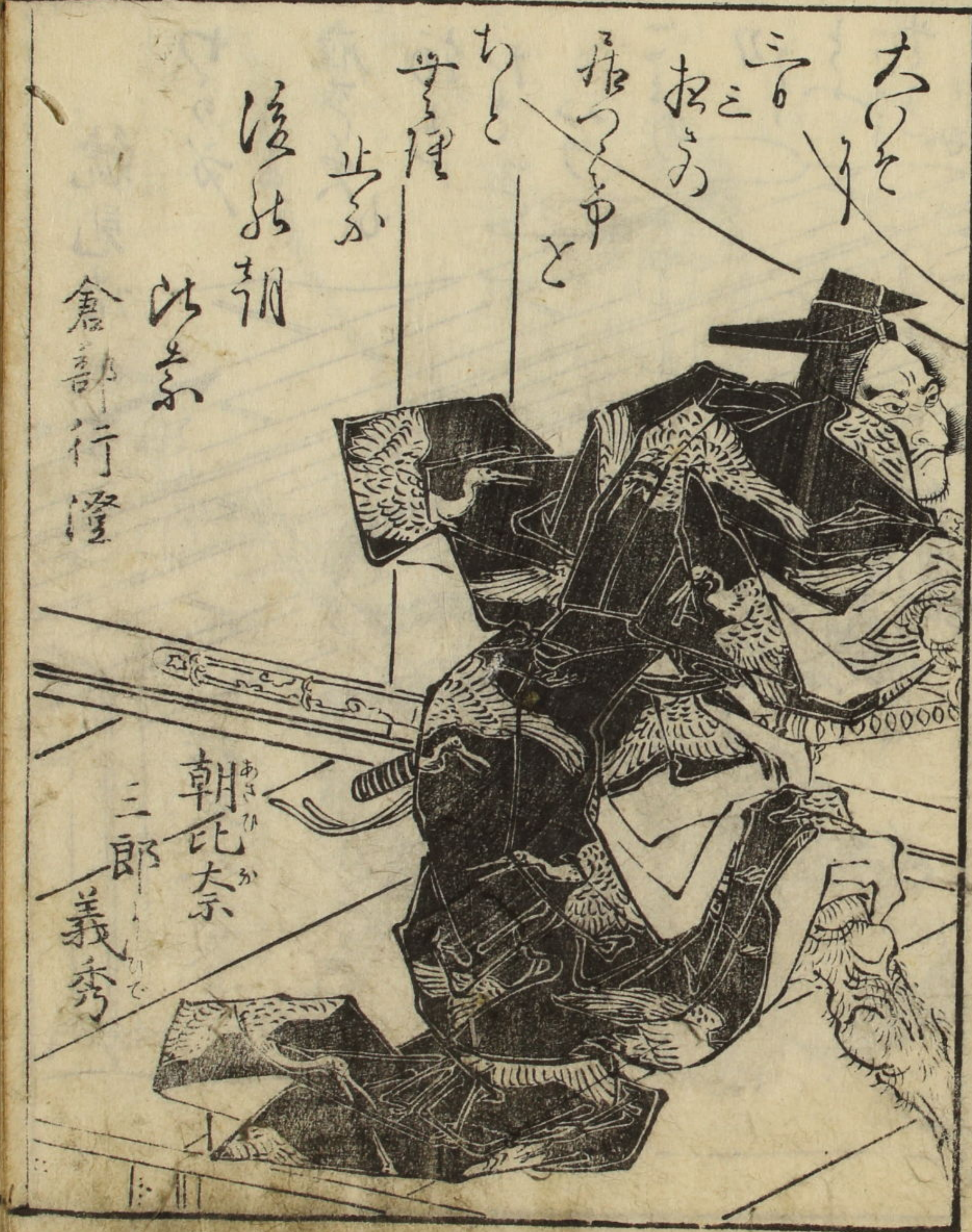


何事
 ついでに
 ものふ
 したる
 あり
 之の
 の
 の
 之の
 之の
 之の
 之の

馬場全将

秩父の
 庄司
 重忠

上ノ六



大のそ
 三の
 おの
 舟つと
 ちと
 母屋
 止ふ
 後如朝

倉部行澄
 以奈

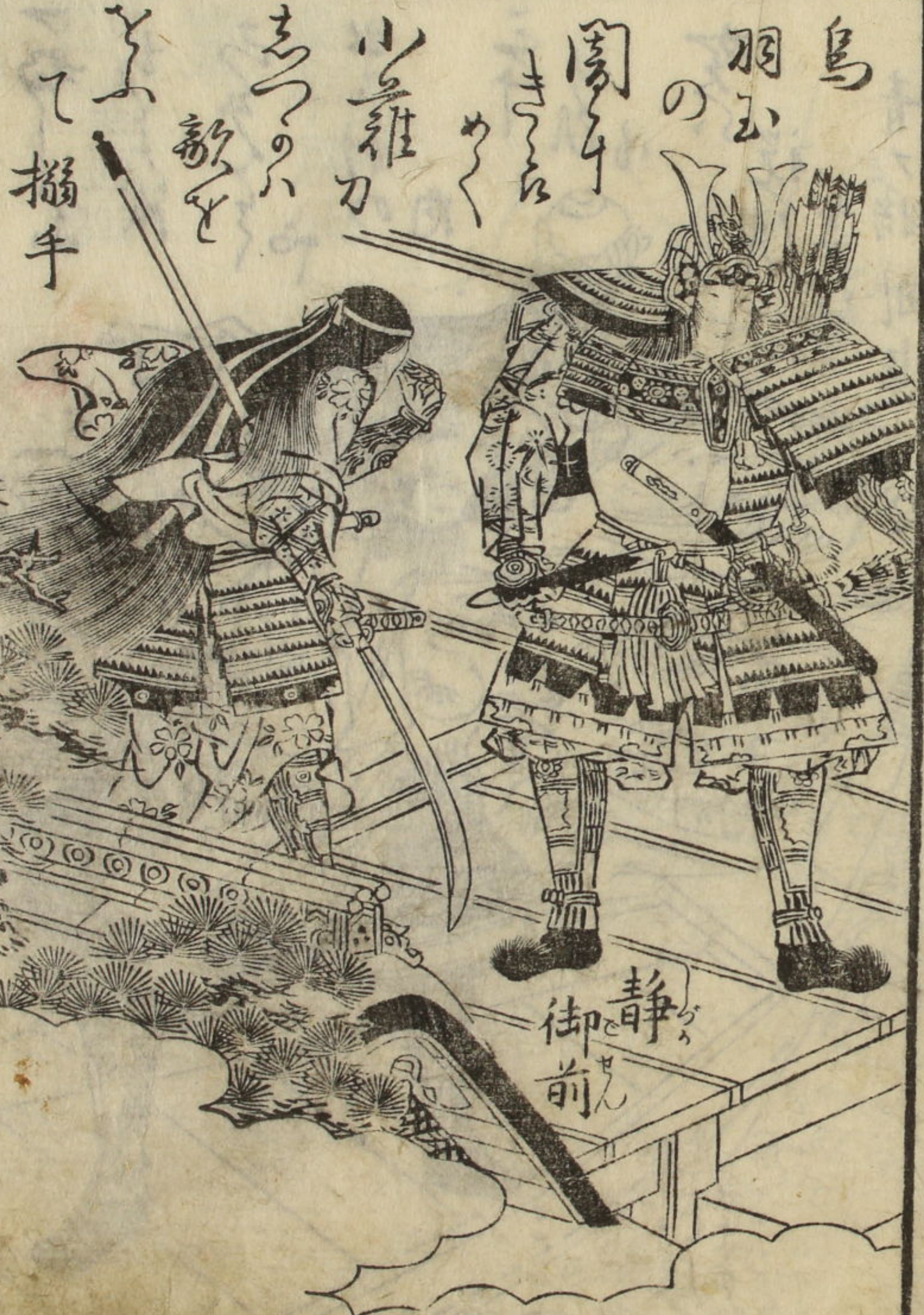
朝比奈
 三郎
 義秀



竹杖為輕
 衣
 今心
 四宗
 と備り

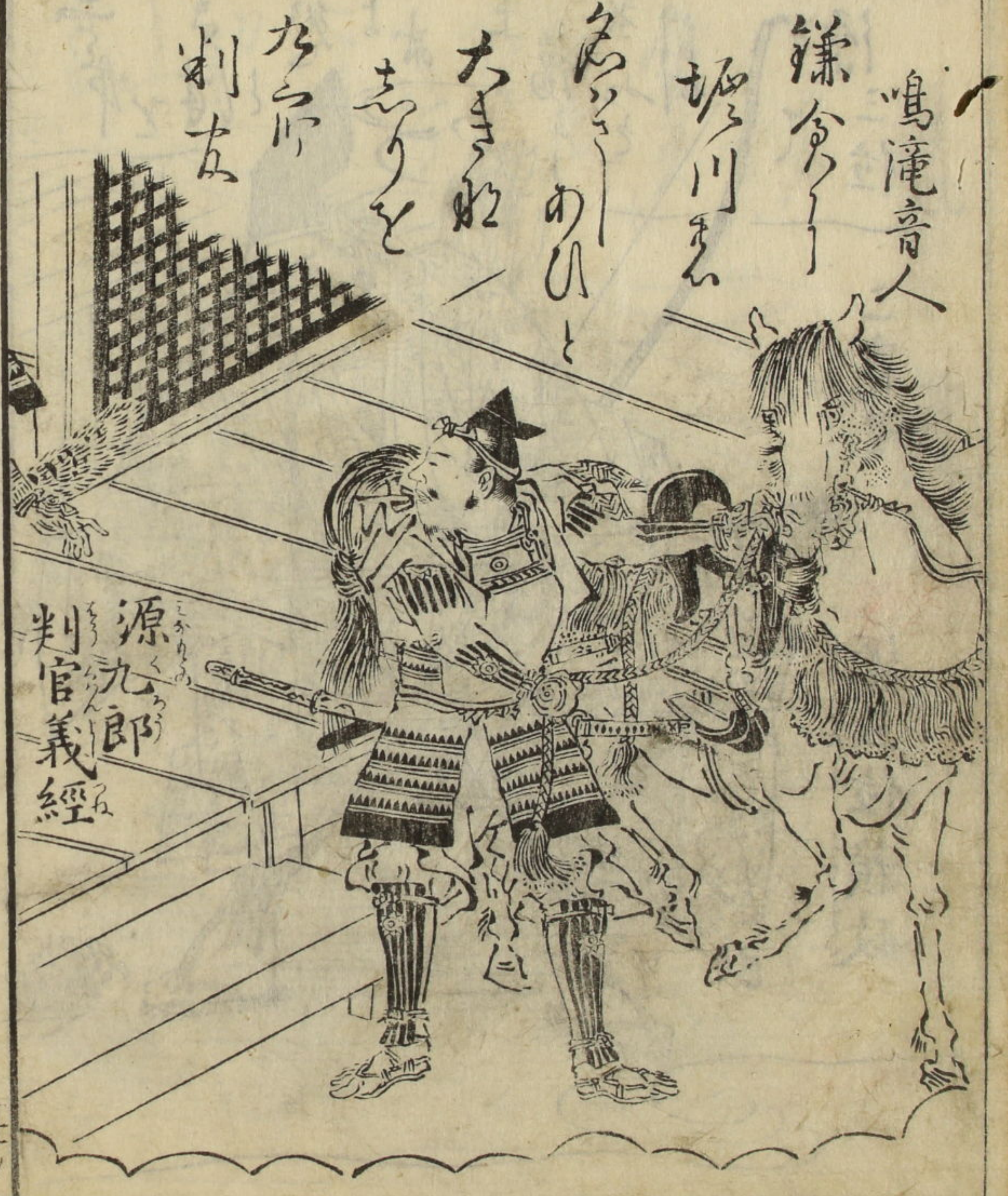
曾我
 五郎時
 致

山東京傳



鳥羽の
園子
まきら
少羅刀
志つゝ
歌を
て搦手

静御前



鳴滝音人
鎌倉
堀川
名
大まね
志つゝ
九郎
判官

源九郎
判官義經





之右か

須六辺

有人

冥誠

名

むま

い

まの
戸櫓

戸櫓左衛門



碓友綱

伊豫守源義經

武
年藏房
慶

中ノ二

新巻
 志の
 事
 松の
 留井
 吹壳
 咽人



言子
 ほう
 虹屋
 の
 無官大夫
 敦盛







栗成笑
大
おんち
碎
素
之邪
い
の
あ

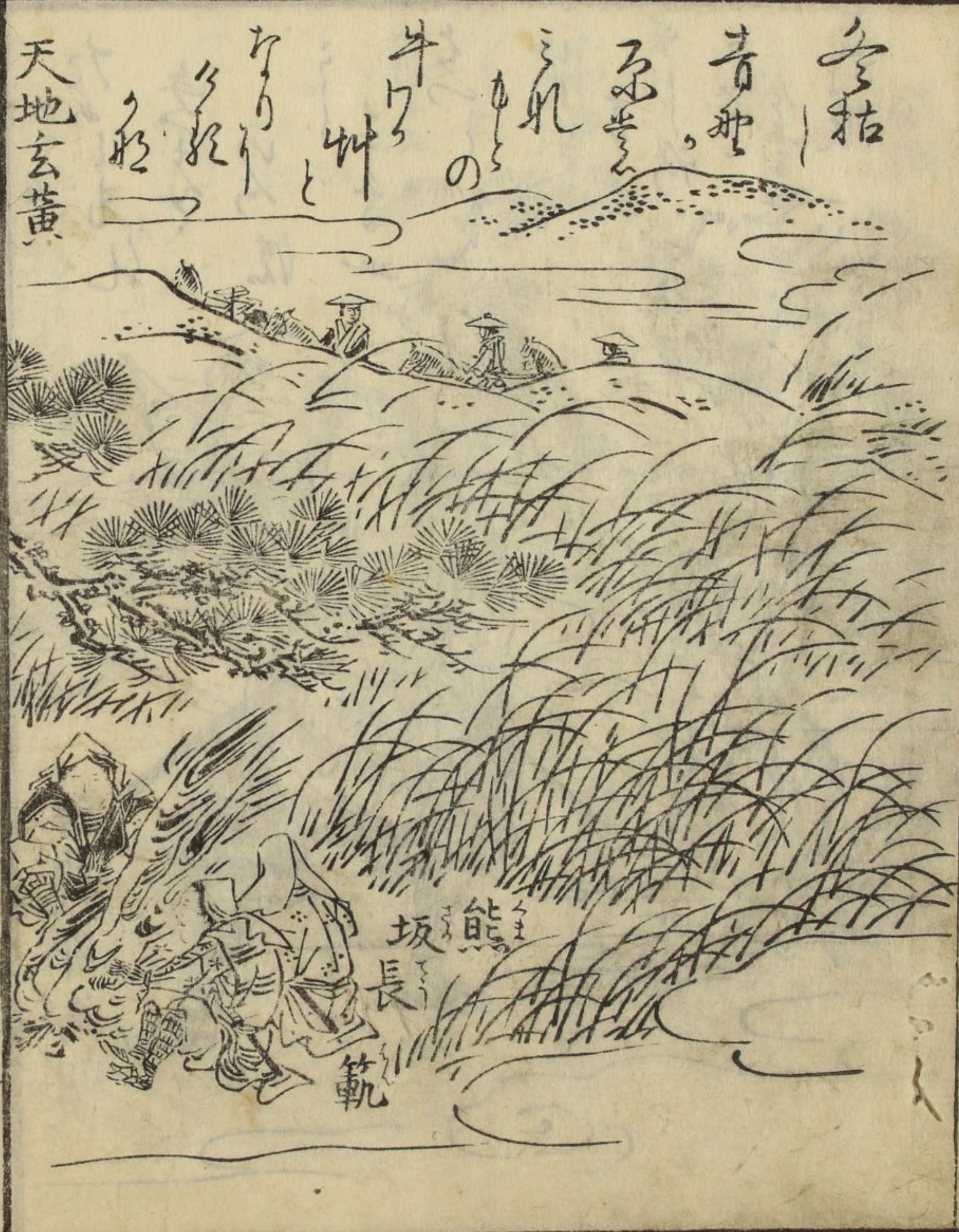


邊越方人
毒
始
の
紅
差

素
盛
鳴
昔

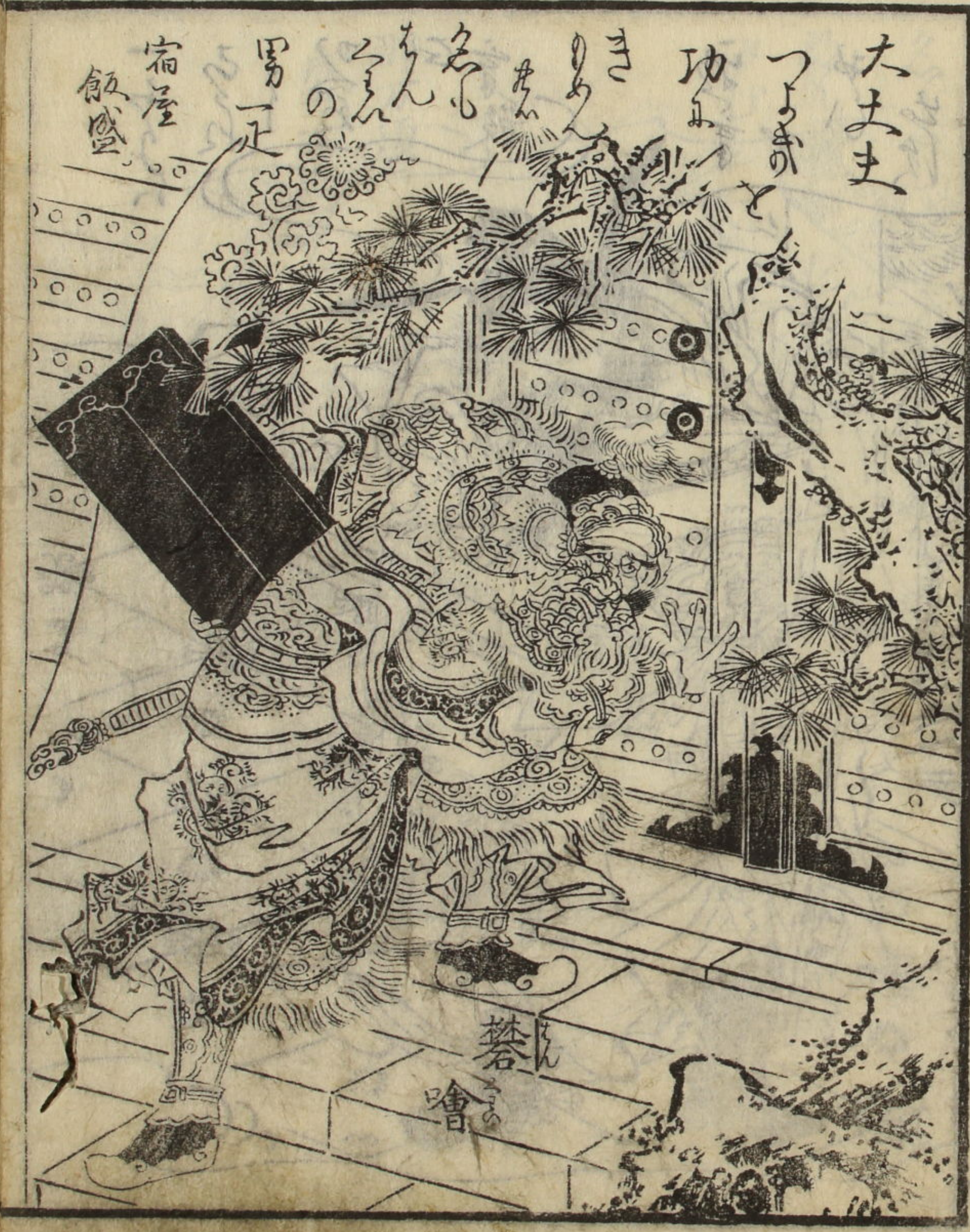


招き枝
 の
 茶
 の
 月
 の
 光
 お
 照
 唐
 来
 和



天地玄黄
 牛
 の
 乳
 青
 松

熊
 坂
 長
 軌



大丈主
 つよ
 功
 ま
 の
 名
 の
 宿屋
 飯盛

碁
 會



大刀と
 伊予
 仲志
 志の
 軍此
 利
 新神
 志の
 伊予

新田
 義貞

平氣
如自
於曾禮
長良



喜心
以每
夜矣
業膏
関羽









行小袖犬
陸奥奥の
みなぬ



安部の
宗任



文字の
撫の
不れ
付印



源義家の



みづのちも

たぐ

のち

印

戸隠

乃山

鬼

十八

大原

ざれ

平

惟茂

檀畫

東都台嶺北鄰

北尾紅翠齋



天明六載丙午正月吉辰

書林

御江戸本町筋北_三下_八町目通油町

葛屋重三郎藏板

